



2022年 6月 16日発行 会報第1105号

### 今週のプログラム

(2022年6月16日 第1105回例会)

アセンブリー

【今年度活動総括】

担当：水島 洋 会長

### 次週のプログラム

(2022年6月23日 第1106回例会)

会長・幹事挨拶

優良出席表彰

担当：水島会長 山本幹事 松田 SAA

第1104回例会 (2022年 6月 9日) の記録

### 「会長の時間」

水島 洋 会長

皆さん、こんばんは。

ゲストの皆さま、本日は千里メイプルロータリークラブの第24回創立記念例会によろこおいでいただきました。後ほど皆様のご紹介をさせていただきますのでよろしくお願いします。

さて千里メイプルロータリークラブは1998年6月にチャーターメンバー27名で創立されました。今年の5月12日の例会が1100回でしたので、その回数を目にしますと、先輩諸氏を含めたみんなで築き上げてきた歳月の重さを感じます。

現在の会員数は17名で、その少なさ故に会員の負担が大きくなることもありますが、まとまりがよく、一枚岩になることができるクラブと自負しています。これからも会員相互の親睦と、身の丈に合った奉仕で豊かなクラブ生活を歩んでいきたいと思っておりますので、今後とも、どうぞよろしくお願い致します。

さて、本日の創立記念例会の第1部は池田 進名誉会員の『日本に初めての電車を走らせた人達』という演題での講演会です。4月のお花見例会の時に講演をお願いしましたら即座に了承を頂き誠にありがたく思いました。どうぞよろしくお願い致します。第2部はル・ジャルダンさんのおいしいお料理とお飲み物をお楽しみいただき、お時間の許すかぎり親睦を深めていただきたいと思います。それでは、本日はどうぞよろしくお願い致します。



<本日のお客様>

藤田 芳浩 親睦委員長

2021-2022 年度 IM 第 2 組ガバナー補佐 茶橋 和夫様 (摂津 RC)

関西医科大学 看護学部教授 山本 加奈子様 ガバナー事務所 杉本 亜鶴巳様

元会員 岸上 和典様 元会員 石田 タ子様

2021 学年度 米山奨学生 アクサ メイリアナ インタニさん

2022 学年度 米山奨学生 グェン キム フンさん

<出席報告> 柳原 健治 SAA 補助

会員数 (内出席免除会員 1 名) 17 名

本日の出席者数 16 名

(内出席免除会員 1 名)

(内名誉会員 2 名)

本日の出席率 82.35%

<ロータリーソング> 全会員

♪それこそロータリー

<本日のピアノ曲> 近藤 美里さん

1. Take The A Train

2. A Whole New World

3. しあわせの花

<幹事報告>

山本 友亮 幹事

1. 2023 年メルボルン国際大会資料及び特別割引料金のお知らせが届いております。  
資料が必要な会員様にはメール添付にて送付致しますので事務局までお知らせ下さい。
2. 来週はアセンブリー今年度総括です。各委員長は今年度の活動報告をして頂きますので  
ご準備下さい。
3. 次年度前期のプログラムを全会員レターケースに配布致しておりますのでご確認下さい。

<SAA 報告>

※スマイルボックス

水島会員 祝! 創立記念例会! ゲストの皆様 ようこそおいでいただきました。

池田名誉会員 創立 24 年 おめでとうございます。

石田元会員 久しぶりに参加させていただき、うれしいです。

黒川会員 創立例会 おめでとうございます。

相原会員・山田会員 コメントなし

❖ 岸上元会員より過分なご祝儀を頂戴致しました。

※ラオス基金

黒川会員 山本 加奈子先生ようこそ!!

柳原会員 やっと目が見えるようになりました。



### ※ロータリー財団

水本会員 祝！！創立記念例会  
黒川会員 山本加奈子先生 ロータリーに入りませんか？  
高尾会員 (祝) 創立記念例会

### ※米山記念奨学会

柳原会員 やっと3月決算が終わりました。  
木下会員 グエンさん、アクサさん ようこそ！  
黒川会員 岸上さん お帰りなさい！！  
山本(雅)会員・高尾会員 コメントなし

### ※メイプル基金

藤田会員 本日、『創立記念例会』皆様お楽しみ下さい！！  
山本(友)会員 祝24周年♪  
黒川会員 岸上さん久しぶりです！！  
柳原会員 早く釣りに行きたいです。  
❖ 小山名誉会員より過分な奉仕金を頂戴致しました。



## 講演会 『日本にはじめて電車を走らせた人たち』 池田 進 名誉会員



ここで言う電車とは、軌道を敷いてその上に電力を動力源にして、客を乗せて走る交通機関です。日本では明治23年(1890)に上野で開かれた第3回内国勸業博覧会に展示され、観覧客を乗せて約300メートルを往復走行した2輦の電気軌道車が最初です。これには藤岡市助という技師が携わりました。その5年後の明治28年(1895)に第4回内国勸業博覧会が京都の岡崎公園で開かれました。この期間に殺到するおおくの観覧客をさばくために、伏見から京都七条の停車場を経て岡崎・南禅寺までを結ぶ軌道が敷設されました。これが日本ではじめての営業目的の電車の路線です。京都電気鉄道(株)(略称京電)のチンチン電車です。営業開始は博覧会の初日にようやく間に合いました。開業前日、役所の検査を終えて無事開業を迎えた関係者の人たちが、試運転の電車の窓に喜びの顔を並べた記念写真が残っています。

ここでは京電社長の高木文平、取締役の大沢善助を紹介します。もう一人、北海道へ出張中でここに顔を並べることができなかった田辺朔郎についても述べなければなりません。

◦高木文平は現在の丹南市で江戸幕府の代官を勤めていた家に生れ、府の監察役を勤めた後退官し貿易会社を設立して、京都商工会議所の初代会長をつとめました。その後いろいろあったのち、京都府の琵琶湖疎水事業の常務委員を務めていた時にアメリカへの現地視察出張を命じられ、田辺朔郎とともに、ニューヨーク州、ニュージャージー州、マサチューセッツ州で運河による水運、水力利用などに併せ、3 か月ばかり前にボストン近郊のリン市で開業したばかりの市街電車を見学しました。その後コロラド州アスペンで、これも始まったばかりの水力発電の実態を見学しました。このときの経験が、同行の田辺と共に高木に衝撃を与えて、琵琶湖疎水の利用目的が水力利用から水力発電へと大きく方向変換されることとなります。

高木は帰国後に数名の同志に諮って京都電気鉄道(株)を創設して初代社長を勤めました。また、京都電燈の社長も勤めて火力発電とともに宇治川の水力発電にもかかわり、宇治川電気(株)の重役をもつとめました。

◦大沢善助は地元京都の顔役の家に生まれ（元治1年 1864）、見込まれて大親分大沢清八の養子に入りやがてその跡目を継ぐ立場でありましたが、商才に恵まれ、維新に際して堅気になってその才能を発揮します。時計製造の会社を起し、京都上・下連合区会議員、府会議員、商工会議所会頭を務めるなど京都財界のリーダーの一人です。三条小橋西にガラス張りショーウインドウのある店を出して明治屋とともにハイカラ店と呼ばれました。京都疎水計画に当たっては積極支持の中心人物の一人であり、自ら坑道に入って工事を督励しました。孫に大沢商会とトーキー映画制作の J.O.スタジオを経営した大沢善夫がいます。

◦田辺朔郎（文久1年 1861 生れ）は工部大学校に学び、卒業論文「琵琶湖疎水工事の計画」によって工学士の学位を得ました。これと同時に京都府の琵琶湖疎水工事技師に就任しました。工事途中に高木文平とともに現地視察のために1年近くアメリカへの視察旅行に出たことは既に述べました。田辺は、疎水建設におおきな功績を残すと共に電気鉄道設置にもつくしました。明治26年（1893）に「京都市内電気軌道調書」をまとめて高木の京電創業を支援しています。

琵琶湖疎水事業の推進者であった北垣国道第3代京都府知事とは共通の目的意識で結ばれ、夫人は同知事のお嬢様です。知事が北海道庁長官に転出すると、朔郎も北海道庁鉄道部長として同行しています。その後33年に京都帝国大学の教授に着任し、疎水工事に碎身した南禅寺近くに居を構えました。

北垣知事はその後拓殖務次官、貴族院議員、枢密顧問官をへたのち大正5年(1916)に京都で亡くなりました。



～・～・～・《創立記念例会》タイムスケジュール・～・～・～

18:00・・・受付

18:30・・・開会 点鐘 水島 洋 会長  
通常例会通りビジネス開始 ♪ロータリーソング  
「会長挨拶・幹事報告・委員会報告・出席報告」  
「SAA報告（会報に掲載）」  
閉会 点鐘 水島 洋 会長

18:40・・・創立記念講演会 名誉会員 池田 進 様  
(関西大学名誉教授)  
題名『日本に初めての電車を走らせた人達』

19:15 第二部 懇親会  
藤田 芳浩 親睦委員長 挨拶 ゲスト紹介  
乾杯 高尾 修 副会長

19:17・・・ 会食

20:30・・・閉会挨拶 山田会長エレクト

終了



